

第 3 回 定 例 会

教 育 行 政 報 告

令 和 3 年 8 月

北 広 島 市 教 育 委 員 会

令和3年第3回定例会の開会にあたり、教育行政報告を申し上げます。

1 中学校体育大会について

まず始めに、中学校体育大会についてであります。新型コロナウイルス感染症の影響により、2年ぶりに開催されたところであり、市内大会につきましては6月25日、26日に、石狩管内大会につきましては7月9日、10日に、それぞれ感染症対策を十分に講じた中、各会場において熱戦が繰り広げられ、生徒たちの日頃の練習の成果が発揮される機会となったところであります。

また、7月23日から開催された全道大会には、市内の全ての中学校から、12競技延べ67名の生徒が出場し、体操競技の男子団体1部において東部中学校が優勝、女子個人1部において東部中学校の丹羽奏さんが3位の好成績を収めて全国大会に出場するとともに、その他の競技においても一人ひとりがベストを尽くし、活躍したところであります。

全国大会に出場した東部中学校の生徒たちは、北広島市の代表として、自分の持てる力を最大限に発揮し、全国レベルの選手達と交流を深めるなど、貴重な体験をすることが出来たものと考えております。

2 東京2020パラリンピック採火式事業について

次に、東京2020パラリンピック採火式事業についてですが、東京2020パラリンピック聖火リレー聖火フェスティバルの一環として、全国の自治体において共生社会への思いが込められた火を採火する事業を、8月12日に市役所において開催したところであります。

当日は、元女子U25車いすバスケットボール日本代表選手の碓井琴音さん、元女子バレーボール日本代表選手の成田郁久美さん、市長の3名が、平和の灯公園の平和の灯から分火した火を、共生社会を目指す「きたひろの灯」として採火し、聖火台に点火したところであります。

採火された「きたひろの灯」につきましては、8月16日に、道内各自治体から採火された火とともに「北海道の火」として集火され、パラリンピック開催都市・東京において、全国で採火された火と一つになり、パラリンピック聖火となるところであります。

この採火式を機に、平和な社会の実現や共生社会を目指す人材の育成に努めてまいりたいと考えているところであります。

3 北広島エコミュージアム「東部地区サテライト」について

次に、北広島エコミュージアム「東部地区サテライト」についてであります。開拓記念公園など歴史遺産6か所と北広島レクリエーションの森など自然遺産6か所が所在するエリアを新たに「東部地区サテライト」として指定するとともに、各遺産が所在する現地に解説パネルを設置し、あわせて、各遺産を巡る「発見の小径」を設定したところであります。

7月11日には、市民大学OB会との共催による各遺産を巡る事業を実施するとともに、7月24日から11月24日までの間、エコミュージアムセンター知新の駅において、「東部地区のサテライト展」を開催しているところであります。

今後も、歴史や自然などの地域遺産を活用し、郷土への関心を深める取組を推進するとともに、本市の魅力発信に努めてまいりたいと考えているところであります。

以上申し上げ、教育行政報告といたします。